

こなほんしってる？

2021 No.1068

9月号



だざいふしみんとしょかん・すくすく号 電話921-4646 Fax921-4896
太宰府市民図書館ホームページアドレス <http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

《ティーンズから》

※【 】内の記号は分類番号です。読みたい本が見つからないときは、カウンターの人にきいてね。リクエスト（予約）もできます。

☆今月のおすすめ！☆

江戸の空見師 嵐太郎

佐和 みずえ/作 しまざき ジョゼ/絵 フレーベル館 【Nサワ】
江戸時代にも天気予報（空見）をする人たちがいました。
このお話は、その空見を得意とする少年、嵐太郎の成長物語です。
ある日、嵐太郎のもとへ「黒船の来航日を予測せよ」というお役目が舞い込みます。果たして予測なんてできるのでしょうか！？（理）

ショートショートでひらめく文章教室

田丸 雅智/著 河出書房新社 【Y901】
5分程度で読める短い物語をショートショートといいます。
ショートショートを書くには「文章力」と「発想力」と「論理的思考力」が必要とされます。これらの力は、大人になって社会に出てからも役に立つ力です。文章を書くのが苦手な人も、この本を読めば書いてみたくなるかもしれません。（基）

いきもの口図鑑

長谷川 真理子/監修 岩間 翠/絵 インプレス 【481】
いきものの口は、食べるだけでなく、息をしたり、コミュニケーションをしたり、くわえて物を運んだり、いろいろな役割を持っています。この本では52種のいきものの口を、カラーイラストで楽しくわかりやすく解説しています。あなたもいきものの口について、考えてみませんか？（美）

キプリング童話集

ラドヤード・キプリング/作 ハンス・フィッシャー/絵
小宮 由/訳 KTC中央出版 【93キプ】
どうしてラクダにはこぶがあるの？ どうしてゾウの鼻は長い？ なぜだかわかりますか？ 今からおよそ120年前、イギリスの作家キプリングが、おやすみ前のわが子に語って聞かせた、動物と世界のはじまりの11の物語。不思議な世界への想像力が広がります。（優）

子どものための感染症予防BOOK パンデミックを生きぬくための101の知識

夏 緑/著 ミノオカ リョウスケ/絵 童心社 【498】
現在世界をおびやかしている新型コロナウイルス感染症の原因は、ウィルスという病原体の一種です。病気をおこす病原体には、たくさんの種類があります。それらはどういう症状をひきおこし、どうやったら防げるのでしょうか。感染症に関する知識が詰まった一冊です。（英）

武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方

宮田 律/著 平凡社 【333】
アフガニスタンでは戦争が続き、食べるものも飲む水もなく困っている人が今もいます。中村哲さんは「人は食べ物があれば戦争などしない」と考え、十分な治療ができる環境と食べ物、水をつくることを目的に活動していました。アフガニスタンで尊敬された医師について知ってみませんか。（桃）

自分をたいせつにする本

服部 みれい/著 筑摩書房（ちくまプリマー新書）【Y159】
本当の自分とは違う「自分風」の着ぐるみを脱ぎ捨てて、ありのままの自分を受け入れることは簡単なようで難しい。どう考えて行動したら、本当の自分を生きることができるのかを具体的に示してくれる本です。（い）

☆他にも あるよ！☆

カイトとルソンの海

土屋 千鶴/作 小学館 【Nツチ】

夜明けをつれてくる犬

吉田 桃子/著 Naffy/装画 講談社 【Nヨシ】

ろくぶんの、ナナ

林 けんじろう/作 高橋 由季/画 岩崎書店 【Nハヤ】

宇宙の話をしよう

小野 雅裕/作 利根川 初美/絵 SBクリエイティブ 【538】